

てんだあ 第16号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2011年3月

〒295-0004千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



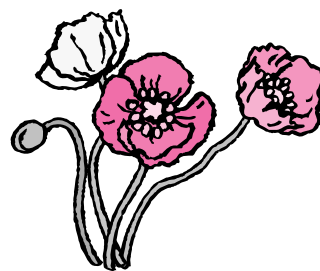
最優秀賞 鈴木美帆さんの福祉作文発表

CONTENTS 主な内容

- 第5回南房総市社会福祉大会 … 2P
- 福祉作文 …………… 3P
- 福祉ニュース…………… 4P
- 地域福祉フォーラムレポート… 5P
- ボランティアネット(和)ーク 6P
- ワンポイント介護 …………… 7P
- 善意の寄付、ちょっといい話 … 8P

おもいやりの心を朗読

第5回南房総市社会福祉大会で福祉作文を朗読。この作文には、「おもいやり、やさしい心」がたくさん込められていて、来場者もときおり涙ぐむ姿や「とても感動しました」との声が寄せられました。



ポピー
はなことば：思いやり

ふれあい支えあいのまちづくり誓う

第5回 南房総市社会福祉大会

2月19日(土)に千倉保健センターを会場に第5回南房総市社会福祉大会を開催しました。この大会は、「住民参加とふれあい支えあいのある豊かな福祉社会」を目指し、社会福祉活動の一層の推進を誓うとともに、渋谷幸一社協会長から社会福祉に貢献された方へ表彰を行いました。

第2部は、「おもいやり、やさしい心」をテーマに市内の小中学生と高校生から募集し代表の皆さんによる心温まる福祉作文の発表がありました。生きていくためには、やさしさが必要であり人はみな平等であることなど日常生活のなかで感じている思いが作文に込められていました。



地域福祉活動功労者の表彰

◆表彰された皆様おめでとうございます。

南房総市社会福祉協議会長表彰

【地域福祉活動功労者】

真田隆久様、吉田保様、早川美智子様

【民生委員・児童委員】

金木誠一様、岡崎武光様、出口進様、鈴木益夫様、坂本毅様、足達俊昭様、嶋田颯様、石野正子様、安西美智子様、高橋弘美様、渡邊裕様、石田裕子様、在原千鶴子様、佐野英世様、奥村俊雄様、高木成雄様、小谷賢様、山口洋子様、加藤久未子様、清宮和子様、石井節子様、渡邊恒夫様、前田笑子様、眞田文江様、青木正美様、齋藤政美様、磯部純子様、石井洋子様、齋藤節子様

【地域福祉功労団体】

あすなろ会様(白浜地区)、あすなろの会様(千倉地区)

南房総市社会福祉協議会長感謝状

水島清一郎様(和田地区)、青木芳和様(富山地区)、株式会社おどや様(館山市)、ラリーチームホッパスタッフ様(船橋市)

南房総市社会福祉協議会福祉作文表彰

最優秀賞 鈴木美帆さん(千葉県立安房拓心高等学校)、優秀賞 水嶋恵利那さん(南房総市立和田中学校)、正木莉奈さん(南房総市立和田小学校)

「笑顔でいるからいいことが起きるのです!」

笑顔の記念講演

記念講演では、「子どもをとおして広がる世界」と題し、実体験を元に笑いあり、涙ありの心温まる講演をしていただきました。

最初に、親しくするには笑顔のあいさつがまず第一歩とアナウンサーの経験を活かし、会場の方々と一緒に楽しく発声練習をしながら、表情豊かに声をかけることが大切であること。またご自身も参加していた自主保育グループでの体験談では、子どもたちにどのような時に手を貸して良いのか自然と身につく、子どもはいろいろなことに挑戦し、多くの可能性を秘めていると語りました。

そして、子どもを通じて笑顔の輪が広がること、また、子どもにテレビ・ゲームばかりでなく、外で遊ばせて豊かな友人関係や地域のつながりを作ることにより、心は豊かに育まれると話しました。

最後に、いつも明日があるからいいではなく、明日がない場合もある。そのためには今を一生懸命生きる。いいことがあるから笑うのではなく、笑顔でいるからいいことが起きると話し、最後にはみなさん笑顔満点の講演となりました。

村松真貴子氏

(アナウンサー・エッセイスト)



アナウンサーが伝える子育ての上手



育まれる
“福祉の心”

福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・学生の皆さんが「おもしろい、やさしい心」をテーマに作文で表現した作品102編の中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

「信頼される介護士を目指して」

千葉県立安房拓心高等学校 3年 鈴木美帆さん

私は、高校卒業後、介護施設への就職が決まっています。幼い頃から近所のお年寄りとお話したりするのが好きで高校に入学して少したってから将来は介護の仕事をしたいと思い始めました。母がホームヘルパーをしており影響を受けたのかもしれません。

私が中学2年の頃、母がホームヘルパーの仕事を始めました。朝早くに家を出て仕事に行くことや夜遅くに帰ってくることも母はいつも疲れきっているようでした。その時点では、介護の仕事はきつくて大変だとは思いませんでした。その後、祖母が老人ホームに入所し、たびたび面会に行くにつれて祖母の介護にあたっている職員の方々の仕事ぶりに興味を持ちました。皆さんいつも笑顔で祖母も楽しそうに生活していました。母は大変だと言っていたけれど、介護する側が苦労した分、利用者の側は安心して生活できているんだなと感じました。私にとっては大きな発見でした。この頃から介護の仕事について母から話を聞くことが多くなりました。様々な仕事の内容やお年寄りへの接し方などいろいろ話してくれましたが「重労働だし精神面でも大変な仕事だよ」と何度も言われました。

私はとにかくもっと深く知りたいと思い、高校3年の夏、ホームヘルパー2級の資格取得のための講習を受け始めました。毎週日曜日に君津に通い、講義を聞き実技についても教わりました。講義をうける中でお年寄りとのコミュニケーションの大切さや病気、障害のある方への対応の仕方など知れば知るほど大変で、でもその分やりがいのある仕事だということがわかりました。同時に今までの自分の考え方が甘かったことを実感しました。それでも介護の仕事についてもっと詳しく学び頑張りたいと思いました。2ヶ月の講習が終わった後、高校の冬休み中に4日間の実習を行い食事介助と入浴介助を体験し排泄介助の見学をさせていただきました。最初の実習は食事介助でした。ここで教わったのはスプーンは小さい物を使い少しずつ飲み込んだのを確認してから口に運ぶことが大事だということ、また声をかけながらやったほうがいいそうです。そうすることで誤嚥防止になるのだそうです。入浴介助についてもシャワーをかける時はまず自分で温度を確かめてから利用者の方にかけることが大事だと教わりました。最後に排泄介助は見学だけでしたが担当の介護主任の方からいろいろなことを教わりました。介助を受けながらの排泄は利用者によっては精神的にとっても苦痛なことだから時間をかけてはいけないこと。介護全般について、もし自分が介護される側だったらという気持ちを忘れないこと。確かにそのとおりだと感じ言葉の一つひとつにとっても共感しました。そして、この主任さんのように利用者の気持ちを第一に考えて行動できる介護士になりたいと思いました。

4日間の実習を終えて、介護は本当に大変な仕事だと実感し身の引き締まる思いです。介護に関する正しい知識・技術が必要なのはもちろんです。それに加えて利用者ひとり一人としっかりコミュニケーションをとるためには、その人の性格だったり生活スタイルだったりを考えながら接していくことが大切だと思います。講習で学んだ事を4月からの職場で活かし、また現場でもっともっと多くのことを吸収して利用者から信頼され、利用者の生活をしっかりサポートしていける介護士になれるよう頑張りたいです。

同時開催!!



どんなボランティアさんかしら？

このブースは、地域で活動しているボランティアさんの紹介や社会福祉施設の活動を見て、聞いて、知っていただき、誰もが気軽に福祉活動に参加してもらうことを目指しています。当日は多くのボランティアグループ・福祉施設の皆さんに参加協力をいただき、来場者自分たちの手作りブースへ呼び込むいきいきとした声で会場内はにぎやかな雰囲気。ボランティア同士でブースに行き交う姿もあり、お互いの活動を知るきっかけになったようです。

**“地域の福祉
みんなで参加!”**
ボランティアブース

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

美味しいお餅にな〜れ!!

三芳地区ふれあい交流会

三芳地区の70歳以上ひとり暮らし、ふたり暮らしの方と三芳幼稚園児とその祖父母、三芳保育園児を対象に、ふれあい交流餅つき大会を開催しました。厳しい寒さが続く中でしたが、天候に恵まれ総勢146名が参加。昔ながらの臼と杵を使いお餅をつきました。「こーうやってできるんだね!」「皆で食べると美味しいね」と会話をしながらお餅を味わいました。園児からお礼の言葉と歌の披露、最後に握手をして交流を深めました。館内中響きわたる声に、参加された皆さんも自然と笑顔。元氣



ちゃんと出来たかな??

をもら
い「今
年も一
年頑張
ろう!」
と話さ
れてい
ました。

かわいい演奏者に 心うばわれ♥

千倉地区高齢者ふれあいの日



おそろいの帽子もかわいいね

に来てくれ、歌や踊り、合奏の披露をしてくれました。

参加した方々は、かわいい子供たちの演奏に見入って、演奏が終わると拍手喝采!また、幸せなら手をたたこうの手遊びなども一緒に行い、ニコニコ笑顔があふれていました。

午後からは3B体操で音楽にあわせて体を動かし、千倉地区のボランティアグループ「八重会」の唄や踊りを観賞し体も心も軽やかになった1日でした。

災害時に自分で 出来ることを確認

災害ボランティア養成講座

千葉県災害対策コーディネーター連絡会(市原市災害ボランティアネットワーク)事務局長の白尾克伸氏を講師に災害時に自分たちで出来ることをテーマに、市内から41名の参加者が災害時における対処法や体験訓練など、日本における災害の話から災害が発生した時に、どう生き延びるか参加者にイメージしてもらい、「隣近所の付き合いの大切さ」や日頃から自主防災意識をもつことの大切さを学び、また、体験訓練では非常食の炊き出し、オイルランプ作り、新聞紙でスリッパの作成など身近な物を使って災害時に活用できる手法を併せて学びました。



サラダオイルでオイルランプを作ってみました。

模擬災害を体験しました

富浦・八束地区社協合同視察研修



地震が発生しました!!

富浦・八束地区社会福祉協議会合同視察研修会に行ってきました。地震、火災(消火、煙)、台風等を模擬体験し、災害の恐ろしさを再確認しました。家族やご近所と協力し防災行動力を身につけて、イザっ!という時に役立つ貴重な研修会になりました。



地域福祉フォーラム

各地区からの レポート

福祉をはじめさまざまな分野の人たちが協力して、地域福祉を考える座談会「地域福祉フォーラム」を平成22年度各地区で開催してきました。
今回は、岩井地区、白浜地区のフォーラムの開催状況をお聞きました。

大勢の地域の方々が参加し集う！！

〈岩井地区地域福祉フォーラム〉

岩井地区では、第1回岩井地区地域福祉フォーラムを富山公民館で開催しました。「互いに助け合い、安心して暮らせる地域社会を目指して」をテーマに約150人の参加があり地域福祉の関心を深めました。

当日、午前中は社会福祉法人 太陽会の篠崎比呂志理学療法士による「腰痛予防の基礎知識の講話」と題して講話をいただきました。日常生活の問題点などの解説に参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。そして午後からは、ひとり暮らしのお年寄りとの「いきいきサロン」を実施。実行委員さんによる踊りや皆で合唱などをして、なごやかな時間を過ごしました。



150名が参加した岩井地域福祉フォーラム

地域ニーズをみんなで共有

〈白浜地区地域福祉フォーラム〉

白浜地区では、昨年6月から12月までの間、白浜地区内の老人会や学校の保護者の方や消防団などの16の団体（578名）に地域の課題（福祉ニーズ）を調査しました。

そして、白浜・長尾地区社会福祉協議会委員40名を対象に地域福祉フォーラムを開催し、今回のまとまった調査結果を基に来年度に向けた、地域福祉フォーラムのテーマや開催方法等について意見交換を行い、みんなで地域を盛り上げていこうと決意しました。



白浜地区で第1回地域福祉フォーラムを開催



社協会費のご納入

ありがとうございました。

平成22年度社協会費の納入、多くの市民の皆様からのご協力をいただき誠にありがとうございました。また、自治会の区長様はじめ役員関係者の皆様には会費の納入にあたりご協力をいただき感謝申し上げます。

ご協力いただきました会費は、平成22年度の事業計画にしがいまして、地域福祉・在宅福祉の充実、ボランティア育成等のため、有効に活用させていただきます。

この会費は事業費としての目的だけではなく、広く市民の皆様に福祉にご賛同いただき、社協が行う福祉活動を支え、その活動に参加していただくこととおなじ意味を持っております。

社会福祉協議会はこれからも市民の皆様、関係諸機関や団体の皆様とともに、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる地域づくりに精一杯努めて参りますので、今後とも温かなご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

一般会費	賛助会費	特別会費
13,408,000円	916,000円	1,100,000円



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました。

10月から始まりました赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金では 市民の皆様からのあたたかい善意をお寄せいただき、ありがとうございました。

自治会を通しての戸別募金をはじめ、市内の商店街、ボランティアの皆様そして、会社や各種団体そして各学校の児童会等、多くの方々のご協力をいただきました。「たすけあいの心」でご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。

赤い羽根募金 7,049,151円
歳末たすけあい募金 6,962,147円
もち米90kg

歳末たすけあい募金は、歳末配分委員会において審議し、支援を必要とする方や施設へ、民生委員児童委員さんを通じ、お届けいたしました。

ボランティアブースに初参加!!

南房総市社会福祉大会と同時開催の“ボランティアブース”は、今年で3回目になります。今回、参加したボランティアさんを紹介します。

園生製作の品紹介

あすなろの会

あすなろの会では、定期的の中里ワークホームへボランティアとして訪問させていただいています。中里ワークホームは、安房広域福祉施設であり、南房総市でも多くの方が利用されています。

今回はじめて、施設の園生が手掛けた製品を出店にあたり、先ず「売れるかな？」と不安が先立ち、ご近所や友人、サークル活動の仲間に声掛けをしました。

得に生そばは国産の玄そばを園生が石臼でひいた自信作、お陰様で予約もあり売切れ、あとは館山の「和麺家中里」で平日買えますよと、嬉しい応答。手伝いの「中里家」の園生にも優しく声をかけていただき、皆様のご理解とご協力に心から感謝しております。

来年もどうぞよろしくお願い致します。



“声かけ”でブースもにぎやか

広がれ!

ボランティアが活動をレポート

ボランティアネットワーク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました。活動レポートをご紹介します。

地域の子育て応援

南三原おもちゃと絵本の図書館



ままごとあそびを楽しんでいる

平成8年4月、地域の方や千葉県内の方から家庭で眠っているおもちゃを寄付して頂き、多くの方々のご支援やご協力により生まれたおもちゃ図書館です。

目的は、地域の子育て支援です。大切な乳幼児期に、たくさんの方から可愛がられ愛情をもらうことで、人に対しての信頼関係を育みます。お母さん方の育児の悩みを一緒に考えていきたいと思ひます。

お子さんと楽しく遊ぶボランティアさん募集しています。年齢は問いません。

団塊世代の方
主婦の方
ボランティアに
興味のある方

参加者募集中!

シニアライフ講座

セカンドライフに**ボランティア**をはじめてみませんか?

【平成23年度開催予定】

第2回 5月 テーマ 高齢者福祉施設を見に行ってみよう

第3回 7月 テーマ 手話でコミュニケーションをとってみよう

第4回 9月 テーマ 車椅子を操作してみよう

●申込・問い合わせ

南房総市社会福祉協議会 電話44-3577

第1回を2月18日に開催しました。

テーマは“はじめてみよう!ボランティア”

- ・「ひとり一人が輝いて生きる社会へ」
富士総合経営研究所長 石川清 氏の講和
- ・南房総市社協ボランティアセンター紹介
- ・ボランティアセンター登録のボランティアグループの活動事例発表



ボランティアははじめの一歩



ホームヘルパー
ワンポイント

かいGO 介護

移動編

移動という行為は、人が生活するうえで基本的な動作であり、あらゆる日常生活に移動が伴います。高齢になると運動機能が低下し、移動が困難になり介助が必要となります。

介助する側が手を貸しすぎて、やる気や運動能力を低下させないように、最低限の介助を心がけましょう。

安心できる介助のポイント

- 力まかせに介助すると相手に不愉快な気持ちを与えたり、介護者の腰を痛めることになります。
- 移動動作にあわせ、声をかけながら“自分で動こう”という気持ちに働きかけ、介護する側・される側の呼吸をあわせませす。
- 室内の段差・障害物の解消、手すりをつけることで転倒を防ぎましょう。
- 動きやすい服装、すべりにくい靴下を身に着けましょう。
- 身体の状況と体格に合った車椅子・歩行器・杖を選ぶと、動きやすく行動範囲が広がります。



春の足音が聞こえてきます。ちょっと気分転換、お花見に出かけてみませんか。

社協では、福祉車両の貸し出しもしていますので、ご利用ください。(詳しくは、お近くの地域福祉センターへご連絡下さい。8P参照)

問い合わせは

- ホームヘルプサービスとみやま 電話50-5213
- ホームヘルプサービスみよし 電話36-2276

更新のお知らせ

紙おむつ給付事業・高齢者介護用品支給事業交付申請

紙おむつ給付事業等は年度毎の申請が必要となりますので、平成23年4月以降も給付をご希望の方は再度申請が必要となります。

●申請の手続き●

申請用紙は、社会福祉協議会本所または、地域福祉センターにあります。下記の提出書類をそろえて申請していただきます。

	紙おむつ給付事業	高齢者介護用品支給事業（非課税世帯）
対 象 者	市内に居住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に無料で紙おむつを給付します。 ①要介護認定3・4・5の方 ②身体障害者手帳1級・2級の方 ③精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方	①65歳以上で要介護4・5の方 ※前年度市民税非課税世帯に属する高齢者または介護者
品 目	①紙おむつ(サイズにより約50枚から60枚) ②尿とりパット(約80枚) ③フラットタイプ(約120枚) ※どれか1品目	①紙おむつ ②尿とりパット ③紙パンツ ※1回あたり25,000円以内
提出書類	①紙おむつ給付申請書 (民生委員の意見が必要になります。) ②介護保険証または障害者手帳などの写し	①高齢者介護用品支給申請書 ②介護保険証の写し ③購入希望先業者の見積書

■申 込 期 限 平成23年4月28日(木)まで

■給 付 月 平成23年6月 ※給付期日については、後日郵送でお知らせします。

■申 込 先 社会福祉協議会各地域福祉センター (P8参照)

■問い合わせ 南房総市社会福祉協議会 電話 44-3577

たくさんのまごころありがとうございます。善意の寄付

(敬称略／平成22年12月～平成23年2月)

体協ゴルフ部白浜支部	20,395円
千倉ゴルフ部	99,961円
水島清一郎	500,000円
鋸南ロータリークラブ	20,000円
南房朝市組合	30,491円
山田敏明	16,519円
富浦町建設協同組合	30,000円
三石山観音寺	50,000円
株式会社アスカ佛商	100,000円
青木芳和	車椅子 2 台
	25,000円
関東カラオケ同好会	4,763円
匿名 14件	875,767

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

第5回南房総市社会福祉大会で
ご協力いただいた方々からのご寄付

ふれあい喫茶「なごみ」	3,000円
なみはらっこくらぶ	3,000円
平館むつみ会	3,000円
あめつかみどりコーナー	2,700円

【各種相談】

◆心配ごと相談 ～日頃の悩みや困りごとは～

時間：13：30～16：00

4月	5月	6月	場 所
8日(金)	10日(火)	10日(金)	南房総市富山支所
11日(月)	10日(火)	10日(金)	ちくら介護予防センター
13日(水)	11日(水)	8日(水)	とみうら元気倶楽部
15日(金)	20日(金)	17日(金)	三芳農村環境改善センター
20日(水)	18日(水)	15日(水)	白浜保健福祉センター
20日(水)	20日(金)	20日(月)	丸山公民館
27日(水)	25日(水)	22日(水)	和田地域福祉センター

◆無料法律相談 ～法律に関することでお悩みの方～

時間：13：00～16：00 予約・問い合わせ：44-3577

開設日	場 所	事前予約受付
5月11日(水)	ちくら介護予防センター	4月18日(月)
7月6日(水)	とみうら元気倶楽部	6月20日(月)

○予約申込：事前に予約受付日の午前9時から受け付けます。

○定 員：6人(相談はおひとりにつき30分まで)

○そ の 他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

◆結婚相談 ～よい出会いを応援します～

時間：10：00～12：00 問い合わせ：44-3577

4月	5月	6月	場 所
1日(金)	13日(金)	3日(金)	ちくら介護予防センターゆらり

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 電話 44-3577

地域のちょっといひ話

素敵な贈り物

「家族あつての消防団活動だからね！たいしたものじゃないよ」と照れくさそうに話してくれた丸山地区在住の金井隆さんは、フラワーバレンタインにちなんで、2月14日に自分の所属する消防団の団員全員に花束を贈ったそうです。

家に帰ると、団員宛にとってもきれいな花束が届いており、メッセージカードには、団員の家族に宛てた感謝の気持ちが書いてありました。



日頃、消防団活動で、家族に迷惑をかけることが多いなか、この温かい気持ちがこもった花束は、とても喜ばれ、家庭を和やかにしてくれました。

ホッとな気持ちを花でお届け

編集後記

★新年のご挨拶をしたと思ったら、もう3月。早いですね。それにしても今年の冬は本当に寒かった！そのせいか、腰痛なり、もう痛い！寒さのせいなのかまたまた、運動不足のせいなのか、…。それでもほっとしたニュースもあり、子供の小学校卒業、感無量な涙でした。(A)

★今シーズン初のスノーボードに行ってきました。地元の友人8名で南房総から新潟まで、しかも日帰りです！！でも、現地に着くとあたり一面の雪にテンションはMAX！！夢中になって滑っていました♪

しかし、よく考えるとスノーボードをしている時間より移動時間のほうが長いのは辛いですね……。 (R)

★今年は流行に乗ってしまいそう、“花粉症”。目覚めとともにハクション！その症状となると厄介なんです、春が近づいているってことですよね。(T)

発行
編集

社会福祉法人
南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸2705-6
電話 44-3577 FAX 44-3542

◆富浦地域福祉センター 電話 33-4565

◆富山地域福祉センター 電話 57-2926

◆三芳地域福祉センター 電話 36-2276

◆白浜地域福祉センター 電話 30-5122

◆千倉地域福祉センター 電話 44-3541

◆丸山地域福祉センター 電話 46-2200

◆和田地域福祉センター 電話 47-3390